8. 鄭家屯病院示達並設方保

H-0158

0490

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

亞細亞局長

文化事業部

公第二六六號

大正十五年九月二十八日

綴込名

在鄭家屯
領事代理 中野高

外務大臣男爵幣原喜重郎殿

對支文化事業ノトシテ當地ニ病院及圖書館、物產陳列館併設ニ關シ具申ノ件

曩ニ貴外務省ニ對支文化事業調査會ノ設置セラレテヨリ年々數十万圓ノ國費ヲ以テ支那ニ對スル各種ノ文化的事業擴ヲ追フテ實現セラレツツアルハ

吉人ノ認テ日支双方ニ取リ誠ニ慶賀ニ勝ヘサル所ナリト雖從來該事業ハ主トシテ支那本土ニ向テ注集セラレツツアルヤノ感アリテ未タ以テ右来我カ知ト政治的ニ將又經濟的ニ幾多特種緊密ナル車大關係ヲ有スル滿蒙方面ニ伸及セサルハ聊カ遺憾トスル所トス固ヨリ滿洲ニハ多年帝國特種ノ使命ヲ有スル滿鉄會社アリ同會社ニヨリ鉄道、鑛業、運輸、教育、衛生、其他產業ノ試驗試作等各種事業ノ經營セラルルモノナキニ非スト雖其多クハ滿鉄附屬地内若クハ之ニ隣接スル地域ニ限ラレ未タ滿鉄沿線ヲ離レタル奥地滿蒙ノ天地ニ何等施設ノ見ルベキモノナク又之ヲ同會社ニ要望スルノ與理ナルハ恰モ木ニ據ツテ魚ヲ求ムルニ等シク到底吾人ノ滿足スル施設

H-0158

0491

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

ラ見ルコト殆ト困難ト謂ハサルヤカラス

今ヤ帝国ノ人口問題ト食糧問題トハ之ニ懸リテ満蒙ニ於ケル帝国ノ経済的発展如何ニヨリ決スト云フモ敢テ過言ニ非ラサルヘキハ彼我ノ事情ヨリ考察シテ以テ然リト信スノミナラス現ニ我カ邦朝野ノ間ニ満蒙ノ発展策ニ付種々考究セラルルアリ或ハ満蒙経済調査会アリ又或ハ満蒙物資参考館等各種機関ノ設置セラルルニ徴スルモ極テ明ニシテ真ニ帝国官民一致協力シテ我国唯一ノ発展地タル満蒙開発ノ為ニ向上ノ一路ヲ打開シ所謂日支鮮共存ノ理想ヲ実現スヘキ秋ニ際会マリ而シテ之カ実現ノ期スルノ余ハ一ニシテ止マラサルモ先ツ内地朝野ノ有形無形ノ後援ト在満邦人ト支那人トカ互ニ協力シテ所謂

面ニ奉財努力シ各種ノ事業発展ニ満進スヘキニシテ就中今日満蒙ノ帝一線ニ立テル日本人ハ勿論支那人等ノ活動保健上欠クヘカラサル唯一ノ機関タル病院ノ開設ヲ少場トスルコト別紙所説ノ如シ更ニ帝国ノ人口及食糧問題トハ可分関係ニ在ル満蒙ノ経済的開発上主トシテ支那人若クハ蒙古人ニ對シ彼等産業ノ発展ニ資スヘキ学術智識ヲ普及シ民智ノ向上ト資際上ノ進歩トヲ助成スヘキ商業館ヲ開設シ併セテ我カ邦各種ノ製造工業商品ノ輸入ト販路拡張ヲ図リ且ツ一面満蒙ニ産スル種々ノ生産品ヲ蒐集陳列シテ輸出貿易上参考資料ニ供スルニ極テ効果アリト思考セラルル日満蒙ノ物産ヲ網羅セル商品陳列館ヲ設ルトキハ前記図書

H-0158

0492

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

館間談ニヨル學術智識ノ発達ヲ興フルト共ニ商貿易ニヨル帝国ト滿蒙トノ経濟的提携ヲ輩国ニシテ和人ノ滿蒙発展ニ資スルコト最モ有意義ニシテ且ツ極テ機宜ノ適セル文化的事業タルヲ失ハサルベキ人是亦別紙所説ノ如シ

偶々最近新聞紙ノ報道スル處ニ拠レハ我カ對支文化事業ニ向ヒ於テハ先ヅ學研究ノ為メ経費五万圓餘ヲ以テ數名ノ日支學者ヨリ成ル蒙古探検隊ヲ組織シ明春早々次行ノ運ト為レル趣ニシテ吾人ハ密ニ其壮圖カ如何ニ日支双方ノ學術研究上多大ノ裨益アルベキヲ信シ偏ニ和家ノ為メ其成功ヲ祈ツテ止マサルモノナリ然レトモ之等學術專門上ノ研究ノ如キハ未タ遽ニ滿蒙ニ於ケル實際的経濟発展ニ及ホス効果ニ至リテハ極テ遠ニシテ直接ニ在滿蒙日支蒙人ノ産業間発ニ資スベクモアラス即チ帝国ノ人口並ニ食糧問題ヲ解決スルニ最モ径捷ナル滿蒙ノ経濟的発展ノ要素ハ在滿蒙ノ日支蒙人ニ對スル保健上ノ機関タル病院ノ開設ト主トシテ支那及蒙人ニ對スル學術智識ノ開発ニ資スベキ圖書館ニ併設スルニ各種産業ノ発達並ニ輸出入貿易ニ関係ヲ有スル物産陳列館ヲ以テシ特ニ當地方支蒙人ヲシテ深ク我カ国文化ノ進運ニ浴セシメ健實ナル共栄共存ノ實ヲ挙ケベキ公益的施設ノ實行ヲ以テ急務ト思考シ敢テ別紙ト共ニ卑見相添ヘ具申スス

本信写送付先

在支公使、奉天総領事

在鄭家屯日本領事館

在鄭家屯日本領事館

H-0158

0493

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

對支文化事業ノトシテ當地ニ病院設置意見

一、緒言

二、支那側ノ衛生狀態

(イ)衛生機関

(ロ)清潔法

(ハ)排水

(ニ)防疫

(ホ)埃塵

(ヘ)飲料水

(ト)醫師

三、滿洲ニ於ケル傳染病

四、在滿邦人ノ衛生狀態

五、結論

在鄭家屯日本領事館

H-0158

0494

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

緒言

支那ノ興廃ハ直接日本ノ存立ニ影響アリ日本ノ問題ハ又直チニ支那ニ波及スル事ハ東亜ニ於ケル日支両国ノ関係ハ所謂唇歯輔車ニシテ歴史上地理上分離スベカラザル深キ因縁ノ存スルアリ

殊ニ東洋ニ於ケル平和ト繁栄トハ日支両国互ニ真意ヲ以テ相倚リ相信シ以テ文化ノ開発向上ニ尽瘁セムトスル根本義ヨリ樹立セラルルモノニシテ彼ノ対支文化事業ノ如キモ如上ノ見地ヨリ企画セラレタルモノナリト信ズ

顧ルニ満蒙ノ土地廣ク陋習ノ氏多ク且年々移動シテ止マサル苦力ノ大群アリ為ニ満蒙ニ於ケル衛生施設ノ完備ト衛生思想ノ普及トハ前途幾多ノ難関ヲ有スベキハ論ヲ俟タズ満鉄ハ十有餘年ノ苦心ト

巨費トヲ以テ地方経営ニ任シ満蒙ノ文化開発ニ努力スル所アリ殊ニ鉄道沿線地帯ニ於ケル衛生施設ハ近時漸ク完備ノ域ニ近ツキツツアルハ吾人ノ欣快ニ堪ヘサルトコロナリト雖モ一度鉄道附近ヲ離レテ奥地ニ入ラハ道路溝渠ノ構成セラルルナク人畜ノ排泄物ハ至ル所ニ堆積シテ悪臭鼻ヲ衝キ蒼蠅群ヲ成シテ病菌ノ伝播ヲ肆ニシ一朝伝染病ノ襲来ヲ見ムカ其ノ防遏ハ寧ロ容易ナラサルナリ

今翻ニ衛地方ニ於ケル支那側及在満邦人ノ衛生状態及衛生施設ヲ顧ミ以テ対支文化事業ノトシテ衛地方ニ病院ヲ設置スルノ一大喫緊事タルコトヲ提唱セムトス

二、支那側ノ衛生状態

H-0158
0495
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

(ハ)衛生機関

醫地及刑警察所内ニ衛生職員ヲ置キ衛生方面一般ノ職務ヲ掌ラシメワアリト雖モ一ノ定名ニ過ギサルカ如ク清潔法、排水、防疫等ニ関シ何等ノ方法措置ヲ講シワアルヲ聞カス

又醫地ニ兆民道醫藥研究會ト称スル私設機関アリ藥種商ノ出資ニ係リ道内ノ諸解ノモトニ経費シタルモノニシテ本會ハ研究會ト称スルモ醫藥ノ研究ヲ目的トセス貧民施療ノ機関ニシテ専ラ漢藥ヲ便用シワアルカ如シ但シ本會ハ国下休止状態ニ在リ

(四)清潔法

塵芥、汚水、糞尿等ノ掃除ニ関シ何等ノ方法ヲ講スルナク又組織的機関ナシ本年大同醫地警察所ハ市内主要ナル街路ニ面セル商家ニ命シ各家ニ箇ノ天水桶ヲ設置シ街路ニ撒水セシメワアリ是レ本年例年ニナキ旱天ナルカ為砂塵ノ飛散甚タシキヲ以テ特ニ天水桶ノ設置ヲ強制シタルモノナリ

(ハ)排水

醫地主要街路ノ人家軒下ニ深サ三尺幅二尺餘ノ水溝ヲ掘リ汚水ノ排泄ニ充ワ然レトモ醫地ノ如キ砂塵多キ地方ニ在リテハ忽チニシテ砂塵堆充満シ降雨ノ際ハ雨水漲溢シテ街路ニ流出スル状態ナリ而モ破壊セル部分ヲ修繕スルナク閉塞セル箇所ヲ疎通スルコトナク且官憲ニ於テ何等ノ取締リヲ講セサルカ故ニ排水溝トシテノ便益ヲ得ル能ハサルノミナラス流

H-0158

0496

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

生スル汚水ハ路傍ノ低キ箇所ニ溜滞腐敗シ一種不快臭氣ヲ放チ其ノ不潔ナルコト甚タシ

(二) 防疫

衛地支那官廳中衛生ニ関スル係員ヲ置クハ単ニ警察所ノミナリト雖モ有名無實ノモノタルヤ前項ノ如シ道路公署以下各官廳、公共團体ニシテ嚮託醫ヲ有スルモノナク傳染病ノ豫防又ハ之カ消毒病菌携帯者ノ検査種痘ノ施行夏季ニ於ケル蠅蚊ノ駆除及其ノ他ノ防疫措置ニ就テ何等企劃スルトコロナキカ如シ

衛地ニ多数ノ賣春婦アルニ拘ラス検徴ノ事ハ古来ノ慣習ニ因ハレ地方官モ亦其ノ必要ヲ認メカ之ヲ実施スルニ至ラサル状態ナリ

在鄭家屯日本領事館

(ホ) 埋葬及墓地

埋葬ハ他ノ支那地方ニ見ルカ如ク死体ヲ厚キ棺槨ニ收メ土葬スルヲ例トス埋葬ハ之ヲ堀ムト言ハムヨリ棺ヲ地上ニ置キ其ノ周囲ヨリ土ヲ被フト言フヲ適当ス故ニ時日ヲ経レハ棺槨露出シテ雨露ニ曝サレ棺材破レテ死屍現ハレ或ハ野犬ノ之ヲ貪ルカ如キコト尠シトセス傳染病中伝列刺「ペスト」ニ因リテ死亡シタルモノノ死体ハ之ヲ郊外ノ墓地附近ニ於テ火葬ニ付スル例ナルカ其ノ方法ハ地下一・二尺ヲ堀下ケ雑草ヲ以テ死体ヲ蔽ヒ之ヲ焼却ス然レトモ往年伝染病流行シ一日数十名ノ死亡者アリタル際入何等検死等ノコトナク棺ニ收メ直チニ埋葬シタリト傳ヘラル

(ヘ) 飲料水

在鄭家屯日本領事館

H-0158

0497

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

當地方ノ井水ハ曩ニ衛欽試驗所ニ於テ水質分析ノ結果流酸硝酸ノ著明ヲ檢出セルト有機物質ノ多ナルヲ以テ飲用ニ適セス住民ハ何レモ一旦煮沸シテ飲用ニ供シタルモ前記ノ如ク水質不良ノ結果健康ヲ害スルコト斷ナカラス當地方ノ患者統計ヲ見ルニ飲料水不良ノ爲ニ惹フ胃腸病有ノ多キハ最モ顯著ナル事實ニシテ其レヲ當地ノ地方病ト稱スルモ不當ナラサルベシ

醫院

當地ニ於テ開業セル醫師ト名付クヘキモノ十五名アリ多クハ所謂漢醫ニシテ皮ノ博攻ヲ卒業シタルモノナク開業セル醫師ノ許ニ在リテ指導ヲ受ケタルモノニシテ特ニ博學高上ノ經驗ナク其ノ師事スル開業醫ノ業務ヲ見習ヒタルニ過キス

在鄭家屯日本領事館

シテ藥物ノ誤用ニ依リテ人命ヲ損フカ如キコトナレトセスヌ先祖傳來ノ秘法ヲ傳承スト稱シ一病一症ニ付所謂秘傳藥ヲ用ヒテ治療スルト言フモノアリ勿論醫師タルノ資格ナキモノナリト雖モ醫學知識ノ幼稚ナル住民ヲ相手トシテ相當ノ利益ヲ得ツツアルモノノ如シ

支那側醫院名左ノ如シ

醫院名	醫師名	資格	設備	備考
復生	張欽齊	遼陽醫學堂卒業	有	
仰天厚	子明	幕平聯合衛生隊ニテ見習	有	
洞久	張洞久	海軍某衛生隊醫師ニテ見習	有	
愛康	崔百南	漢醫	有	
博愛	刘仲堯	漢醫	有	

在鄭家屯日本領事館

H-0158
0498
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

氏名	生年	出身地	職業	備考
金氏	金民	南満医学堂ノ看護婦タルコトアリ	上海外国医ニ見習	ナシ
陳斌	張陳斌	南満医学堂	仲金医学	同
滝氏	蔡玉亭	不明	同	同
徳新	陳永昌	備地仰天医院ニテ見習	同	同
華西	孫潢氏	不明	同	同
普	満唐仲之	同	同	同
華英	張輪仲	同	同	同
達通	張叅欽	法庫門保衛生医院ニテ見習	同	同
四郎	崔敬敷	南満医学堂卒業	入院生ニ看護婦	満鉄ハ四郎敬路局直属ノ医院ニシテ局員外ノ患者ヲ診療セス

三、満洲ニ於ケル傳染病

満洲ニ於ケル傳染病ハ明治四十四年以降十年間ノ統計ニ徴スルニ腸窒扶斯ヲ最高トシ赤痢ハ

ライケフス」佛列剛士ニ次キ其他ハ猩紅熱、発疹窒扶斯、痘瘡「ピフテリヤ」ペストノ順序トス而シテ発疹窒扶斯ハ其ノ五分ノ四又「ペスト」ハ全部支那人ニシテ其ノ他ノ傳染病ノ約五分ノ四ハ日本人ナリトス各種傳染病ノ流行状態ヲ概説スレハ左ノ如シ

(イ) 腸窒扶斯

例年散発的或ハ流行的ニ発生シ就中大正二年度及同三年度ニ多発シ南後毎年流行シタリシモ豫防接種其ノ他防疫上ノ措置宜シキヲ得タル為其効ヲ奏シ時ニ消長アルモ大正四年度以降ハ概シテ患者数ヲ減少セリ

(ロ) 赤痢

赤痢モ亦腸窒扶斯ト同ク地方ニ依リ散発的ニ

H-0158
0499
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ハ流行的ニ発生シ大正二年ニ於テハ撫順地方、大正六年ニ於テハ奉天錦方面ニテ時流行ヲ見タルコトアリ

(ハ)鼠列刺

鼠列刺ハ明治四十年及四十三年、四年大連、旅順、遼陽、安東ニ発生シ其ノ勢稍猛烈ナリシモ関東州外ニ発生ヲ見スシテ防止スルヲ得タリ然ルニ大正八年南支流行セル鼠疫ハ上海ヲ侵シ次テ営口ヲ襲ヒ遼河ノ流域ヲ溯リテ遂ニ満洲一帯ニ蔓延シ日支外人合計患者方二千餘名死者六千餘名ヲ算スルノ悲惨事ヲ呈シタリ

本年(同五月)哈爾賓傳家甸ニ発生シタル鼠疫ハ同月末日マテニ患者累計二七名内死亡四八名ヲ算シ猶営口及安東方面ニモ侵入シタル報アリ甚

シ憂慮スベキ状態ニ在リ

(ニ)猩紅熱

猩紅熱ハ明治四十二年末各地ニ発生シ翌年ニ於テ僅ニ終息スルニ止マリ四時殆ト絶ユルコトナク特ニ冬季ニ於テ猖獗ヲ極ム

(ホ)疫癘

疫癘ハ年々日支人間ニ散発スル傾向アルモ近時種痘ノ励行ニ因リ漸次其ノ惨害ヲ緩和シツツアリ

(ヘ)日ストル止

日ストル止ハ明治四十二年末北満地方ニ勃発シタル鼠疫ノ余毒ニ基ク、欧亜、奉天撫順等ヲ侵シ其ノ惨害実ニ驚愕スベキ状態ナリシカ罹病者ハ孰レモ支那人ノミニシテ幸ヒ和人ニハ

H-0158
0500
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

感染セス翌年四月ニ至リ全ク終息セリ　大正九年八月滿洲
里ニ発生セル「腺ペスト」ハ同年十二月下旬ニ入リ肺「ペスト」ト為リ
東漸シテ海拉爾、齊々哈爾ヲ侵シ翌年一月哈爾賓ヲ
中心トシテ北滿一帯ノ地ニ流行シ生靈ヲ斃スコト七千有餘
其ノ修羅實ニ言語ニ絶スル幸ヒニシテ日支協同能ク防疫
ニ努メタル結果同年九月ニ至リ終息セリ

(4) 再帰熱

再帰熱ハ夏季ニ於テ支那人ニヨリ発スル傾向アリ罹病
者ハ主ニ支那労働者ニシテ発生地ハ撫順炭礦ナリトス
同地ハ山東方面ヨリ来タル支那苦力ヲ入殖繁ニシテ絶ヘ
ス病毒ヲ傳播スルニ因ス其ノ他冷線各地ニ散見ヲ
ミルモ其ノ傳染経路ハ多ク炭礦苦力ニ密接ノ関係
ヲ有スルモノ如シ

関フニ滿洲ニ於ケル傳染病ハ主トシテ下層支那労働者
ニヨリ輸入傳播セラレ一部頑迷ナル徒ニ因リテ助成セラ
ルルモノナルヲ故ニ結局防止機関ハ支那人自身ノ自
覺ニ俟ツニ非スシテハ到底其ノ効ヲ奏スルコト難ク即チ
排他固陋ノ因習ヲ打破シ文明的衛生施設ヲ自発的
ニ施行セシムルヨトヲ肝要トス

(四) 在滿邦人ノ衛生状態

在滿邦人二十万中年々ノ法定傳染病
名ヲ算シ結核有毒モ亦同数アリ即チ法定傳染病
患者ハ内地ニ比シ二十倍結核病者ハ三倍ノ多数ヲ占ム
状態ニシテ其ノ他諸病患者ノ数モ内地ノ夫ニ比レ遙カ
ニ高位ニ在リ就中滿洲ニ於ケル乳兒幼児ハ其ノ気候
風土ノ著シキ変化アル為生育上多多ノ危険ヲ免ル

H-0158
0501
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

サル人論ヲ俟タス

滿鮮衛生課ノ調査ニ依レハ乳児紐幼児ノ死亡率ハ人口千ニ對シ四九、三トナリ乳児ハ其ノ五割六分ヲ占ム即チ生産千ニ對スル乳児ノ死亡率ハ一三六二ニシテ内地ニ於ケル死亡率ノ一八九〇ニ比シ其ノ成績良好ナルカ如キ感アルモ元ハ滿鮮各線ニ於ケル衛生設備ノ比較的完全ナルト且罹病多レモモ多クハ内地ニ赴キテ療養スルカ故ニ滿州ニ於ケル實際ノ死亡率ハ罹病者ニ比シ遙カニ大ニシテ在滿ノ乳幼児ハ其ノ生育期ニ於テ非常ナル危険ニ直面シツツアリト言フヘク斯ノ如キ事實ハ在滿邦人カ如何ニ保健方面ヨリ大ナル脅威ヲ受ケ延テ植民発展ヲ阻害サレツツアルヲ立証スルモノナリ

備地ニハ大正四年東滿鉄ノ経営ニテ診療所ヲ設ケ公醫ヲ置キ一般患者ノ治療ニ從事スルト共ニ定期又ハ必要ノ場合ニ於テ在留邦人ニ對シ種痘及傳染病ノ予防注射叉ハ産婦ノ検徴等ヲ施行ス然レ共右診療所ハ病室及隔離室ヲ有セス其ノ他ノ設備モ亦甚タ不完全ニシテ特ニ僻地ノ如キ遠隔ノ地ニ於テハ待上或ハ其ノ他ノ事由ニ因リ優秀ナル學術ヲ具備シタル医師ヲ迎フルコト能ハズ年々增加ノ傾向アル患者ノ急ヲ救クヲ得サル状態ニ在リ

結論

叙上ノ如キ保健問題上ノ脅威ヲ防ク為ニハ衛生施設ヲ完備シ住民ヲシテ普ク現代ニ於ケル最新醫術ノ恩恵ニ浴セシムルニヨリ他ニ道ナシ幸ヒニシテ滿洲人ノ我カ日本醫術ニ對スル理解ト信頼ノ深キハ何人モ認

在鄭家屯日本領事館
在鄭家屯日本領事館

H-0158
0502
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

ムルトコロニシテ北満ノ露人或ハ蒙古人ノ遠ク来リテ診ヲ求ムル例甚タ多ク斯ノ如キハ満蒙ノ民衆ヲシテ日本文化ニ接觸シ且其ノ理解ヲ速カナラシムル最捷径ナリト信ス

現在ニ於ケル蒙古医術ハ所謂醫喇嘛ト称スル喇嘛ノ手ニ依リテ行ハレツツアリ其醫術タルヤ両藏傳統ノ奇怪ナル原始的治療法ニテ病者ヲ毒ス此ト称セラルル支那医ニ劣ル枝術ニシテ多数ノ蒙古人ハ貴重ナル生命ヲ此等醫喇嘛ニ託シ祈禱及薬ノ力ニ依リテ病苦ノ救ハルヘキコトヲ願信シ一度病勢ノ昂進ヲ見ムカ唯座シテ死ヲ俟ツヘキ状態ニ在リ

翻ツテ在満邦人ノ現状ヲ見ルニ其ノ満蒙発展ノ徴トシテ振ハサル点固ヨリ多々アリ之カ対策トシテ可ク経済

方面ヨリ或ハ産業方面ヨリ將又統治方面ヨリ慎重ノ考慮ヲ要スヘキハ論ヲ俟タサルトコロナルモ爰ニ保健方面ヨリ考察シ奥地ニ於ケル衛生施設ヲ完備シ在留邦人ヲシテ安住ノ地ヲ起サシムルト同時ニ能ク其ノ健康ヲ保持シ風土氣候ノ異ナレル満蒙ノ天地ニ活躍セシムルハ一大緊要事タルヘシ

今ヤ人口問題ヨリ或ハ産業政策ヨリ満蒙移民ノ高調セラルルコト既ニ久シ而シテ満蒙開発ヲ實際化スルニ當リ如上ノ如キ保健上ノ一大障害ノアルアリ自己ノ健康ヲ損傷シ愛児ヲ犠牲ニシテモ猶満蒙ニ移民セムトスルハ何人モ躊躇スルトコロニシテ斯ノ如キ障害ヲ除去スルト共ニ不幸ナル満蒙奥地住民ヲシテ文化ノ恩惠ニ浴セシメ延テ日支共存共榮ノ實ヲ擧クルカ

H-0158
0503
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

カ為ニ對支文化事業ノトシテ備地方ニ完備セル一大病院ヲ建設スルハ最モ緊要事ナリト信シ敢テ其實現ヲ切望スルモノナリ

（完）

在鄭家屯日本領事館

對支文化事業ノトシテ備地ニ圖書館及滿蒙特産物陳列館併設意見

一、緒言

二、圖書館設置

三、滿蒙特産物陳列館

四、結論

在鄭家屯日本領事館

H-0158

0504

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

緒言

近時滿蒙発展ノ世上ニ屢々論セラルルアリ帝国ノ人口問題並経済政策上ヨリ見ルモ今後滿蒙ノ発展ハ頗ル重要ナル問題ニシテ現下ノ情況ニ徴スルニ在滿蒙邦人並ニ支蒙人ノ発展亦極テ遅々タルモノアリ之カ打開ノ策トシテ対支文化事業ノ経費ヲ以テ當地ニ圖書館並滿蒙特産物陳列館ヲ建設シ廣ク滿蒙開発ノ助トナスハ至極有益ナル事業ト認メラルルヲ以テ當地方ノ事情ヲ説キ之カ参考ヲ求メントス

一 圖書館設置

當地方ニ於テハ曩ニ四洮、鄭通両鉄道ノ開通ヲ見近クハ又洮昂鉄道ノ開通セルアリテ之等鉄道沿線地方ニ於ケル未開墾地開拓ノタメ奥地移民ハ頓ニ

増加スル傾向アリ尚今后共索倫、洮南間ヲ初メ其他通遼、開魯間ノ鉄道引續キ敷設セラレントスル計劃アル實状ニ鑑ミ當地方人口ハ益々増加スベキト思料セラルル處一方之等地方開発ニ伴ヒ一般文化モ漸ク向上シ地方民ノ智識慾ハ次第ニ制限セラレ来レル徴アリ支那人識者間ニモコノ点ニ着目シ曩ニハ當地ニ程近キ阜新ニ洮昂道立林牧場ノ設置セラルルアリ又現ニ洮南ニ於テハ奉天第四方元ヲ校シ縣立圖書館創立計劃中ナル趣ニシテ右等ノ事情ヨリ見ルモ對支文化事業ノトシテ當地方ニ一大圖書館ヲ設立シ主トシテ支那人ノ智識向上ニ資スルト共ニ日支両国民ノ融合ヲ計リ更ニ進テ滿蒙開発ノ一助トナスハ極メテ緊要ノ處置タルヲ失ハス他方本邦人モ當地方ノ開発交通機関ノ

H-0158
0505
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

完成に伴ひ今後奥地に入込むもの層増加スベシト思料セラルル處動モスレハ生活ノ興味乾燥ナルニ飽キ悪趣味ニ走リ易キ奥地在留者ニ對シ時々精神的刺戟ヲ與フルト共ニ新智識ヲ供給シ我国人ノ滿蒙ニ於ケル建實ナル発展ヲ期スル上ヨリ見ルモ右計劃ハ頗ル有意義ナルベシト思考セラル

三、滿蒙特産物陳列館設置

他面四洮、洮昂両鉄道開通以来當地方斯視察旅行ノ數著シク増加セル秋、當リ右圖書館ニ併設スル特産陳列館ヲ以テ主トシテ當地方ニ於ケル特異ナル主要物産ヲ陳列シ遊覧者ニ隨意参観セシメ之等短期間ノ游歴者滿蒙ノ正鵠ナル観念ヲ供スルニ便スルト共ニ面本邦主要産物ヲモ併セ陳列シ滿蒙人ノ嗜好ト研

究考察シ以テ本邦品ノ販路ノ増進ヲ計ルタメ蒙古ノ出入口タル當地ニ之カ設置ヲナスハ滿蒙ニ於ケル今後ノ邦人ノ発展並ニ高圖ノ獲得ト擴張ヲ謀ル上ニ於テ頗ル有意義ト称スルヲ得ベシ

四、結論

今ヤ我カ邦人間ニ對滿蒙発展策ノ種々論議セラレ居ル状況ニ見ルモ右圖書館並特産物陳列館ヲ對支文化事業ノ一トシテ設置シ一ハ以テ支蒙人ニ對スル本邦文化ノ理解ニ便シ一ハ以テ本邦人ニ對シ滿蒙物産ノ紹介並ニ本邦商品ノ販路擴張ニ資シ滿蒙開発ノ助トナスハ伊ズシモ徒爾ナラスト信シ敢テ是ヲ設置ヲ提倡スル所以ナリ

H-0158

0506

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

亞細亞局
第二課

亞第回

文書課長

公信案

文書課發送 民第[illegible]号 大正十五年拾月拾壹日發送濟 淨書

主管 亞細亞局長 主任 [illegible]部長 (起草 大正十五年十月八日) 校正(原稿) (淨書)

文化 機密 普通 第 号 公信 號 大正十五年十月十日 附 附屬書 通

信 在鄭領事代理 発信人名 岡部 文化事業部長

宛名 中野領事代理

件名 対文化事業ノ一トシテ鄭家屯ニ病院ヲ開設方具申ニ関スル件 名込紙

拝啓 益々御多祥之段奉慶賀候 陳者 対文化事業ノ一トシテ貴地ニ病院及図書館並物産陳列館開設方ニ関シ客月二十八日附公第二六六号

公信案 外務省

(甲號用紙)

43

(乙號用紙)

申ノ通拝承致候 満蒙開発並ニ帝国ノ人口食糧問題等ノ解決ニ資スルメ貴地ニ病院図書館等ヲ開設スルコトハ有意義ナル事業ニ属シ且ツ通ニ有之小生ニ於テモ此種施設ノ一日モ速ニ実現セントヲ切望シ(ハ共)ヲ已マサル次第ニ有之ニ付 如何ニカ貴ク対文化事業部ノ目的並同資金ヲ出スルコトニ就テハ 貴ク[illegible]上省

H-0158

0507

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

[illegible]費ハ毎年百万円ノ処到底実行困難ト認ムル由承知ノ通対支文化事業ノ歳出制限額ニ従来ノ計百五拾万円ノ外新ニ参百万円ノ増額（スルノ必要ニ迫ラレ昨年度ヨリ）ヲ企図シ（二ヨル新規ノ施設ハ）可成永久的且普遍的事業ニ集注スルコト南部ヨリノ方針ニ有之従テ北京ニ於ケル人文科学研究所及図書館並上海

ニ於ケル自然科学研究所設置ノ如キ永久的事業ヲ計画セラレタル次第（ニシテ）ニ付将来之等施設ノ完成ノ暁ニハ南部ノ申スト雖モ（研究ノ範囲ハ廣ク）満蒙及国境地方ニ近キ事ヲ及ツテキル分論ニシテ）事ヲ利用シ得ルコトヲ期シ又現在実施シツツアル如キ南部ヨリ留学生ニ対スル学資補給ノ如キハ苟モ留学生ヲ派遣シ居ル地域ニ於テハ

H-0158
0508
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

費生ノ如キ少国ハ一定人（地方ノ）数ヲ限リ平等ニ
学資ヲ補給シツツアリ更ニ又対支文化事業費ハ
中ニ旅費ヲ支給シ本邦ヲ視察セシメツツ
アル外人学生等ニ可成各地ヲ順次招
致スル方針ニシテ（支那ノ）特定ノ地域ニ限ル訳ニ
（現ニ一般ニ対シテモ補給シ元来ニ於テ）無之其他ノ事業ニ就テモ凡テ同一精神
ノ下ニ漸次実施セラレツツアル状態ニ有之候

上ニ述ヘタル如ク対支文化事業ハ彼ノ方針ヲ中
心トスルニ過キス而シテ文化事業ハ現在ノ業績
ニ至リテハ創業早キノ折柄或ハ未タ世人
ノ期待ニ副ハサルモノ有之殊ニ経費ハ新ニ
昨前記年度予算ノ経費ハ将来年々減
少ニ支出シ得ル仕組ニ成ル様ニ有之候
文化事業ハ語外国ノ去レト雖ト異ニシ今後

H-0158
0509
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

歳月ヲ経ルニ伴ヒ漸次大成シ難シ得ル旨
オト確信致ス
中国ニ於ケル中満蒙ニ伸展セサルカ如キ誤解ヲ懲カシ
西園寺
左ノ事項参考迄中進ム敬具
節有ラハ其旨オ示ス前迄ノ如ク左ル方ヲ有シ居ラサルニ付其旨御了承相煩ス
御明察相煩ス

外務省

（乙號用紙）

H-0158

0510

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

拜啓益御多祥之段慶賀候陳者對支文化事業ノ一トシテ貴地ハ病院及圖書館並物産陳列館開設方ニ關シ客月二十八日附公第二六六號ヲ以テ御申出ノ趣拜誦致候滿蒙開發並帝國ノ人口食糧問題等ノ解決ニ資スルタメ貴地ニ病院圖書館等ヲ開設スルコトノ有意義ナルハ寔ニ貴見ノ通ニ有之小生ニ於テモ此種施設ノ一日モ速ニ實現センコトヲ切望シテ已マサル次第ニ有之候ヘ共只之カ經費ヲ對支分化事業資金中ヨリ支出スルコトニ就テハ同事業部ノ目的並同資金ニ基ク既定計畫上目下ノ處到底實行困難ト被存候御承知ノ通對支文化事業ノ歳出制限額ハ從來ノ貳百五拾萬圓ヲ本年度ヨリ參百萬圓ニ增額スルノ必要ニ迫ラレ候次第ナル處之ニヨル新規ノ施設ハ可成永久的且普通的事業ニ集注スルコト當初ヨリノ方針ニ有之從テ北京ニ於ケル人文科學研究所及圖書館並上海ニ於ケル自然科學研究所設置ノ如キ永久的事業計畫セラレタル次第ニシテ將來之等施設完成ノ曉ニハ研究ノ範圍廣ク支那本部ハ申スニ及ハス滿蒙及邊境地方ニ迄及フヘキハ勿論ニシテ又從來實施シツツアル在本邦支那留學生ニ對スル學資補給ノ如キハ苟モ留學生ヲ派遣シ居ル地域タル以上官公私費生ノ如何ヲ問ハス一定人員ヲ限リ地方的ニ厚薄ナク平等ニ學資ヲ補給シツツアリ更ニ又對支文化事業費中ヨリ旅費ヲ支給シ本邦ヲ視察セシメツツアル支那人學生等モ可成各地ヨリ順次招致スル方針ニシテ決シテ支那本邦ニ限ル譯ニハ無之現ニ過般吉林ヨリノ教育視察團ニ對シテモ補給シタル次第ニ有之其他事業ニ就テモ凡テ同一精神ノ下ニ漸次實施セ

外務省
記錄調査室
H-0158
0511
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ラレツツアル狀態ニ有之候以上ハ我對支文化事業大体ノ方針ヲ申述ヘタルニ過キス而テ文化事業現在ノ業績ニ至リテハ創業早々ノ折柄或ハ未タ世人ノ期待ニ副ハサルモノ有之哉モ難計候ヘ共前記參百萬圓ノ經費ハ將來年々ニ永久ニ支出シ得ル仕組ニ相成居リ從テ我對支文化事業ハ諸外國ノ夫レト趣ヲ異ニシ今後歲月ヲ經ルニ伴ヒ漸次大成ヲ期シ得ル次第ト確信致候貴信中滿蒙ニハ伸及セサルカ如キ誤解ヲ懷カルル節有之候ヘ共當方ニ於テハ前述ノ如ク左ル考ヲ有シ居ラサルニ付其邊特ニ御明察相煩度右何等御參考迄申進候　敬具

大正十五年十月十一日

岡部外務省文化事業部長

在鄭家屯
中野領事代理殿

外務省

H-0158

0512

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/